



学校だより

☎ 92-4013
FAX 92-4019

平成28年 2月18日 No.32

教育目標

- か 考える子ども
- が がんばる子ども
- や やさしい子ども
- け 元気な子ども

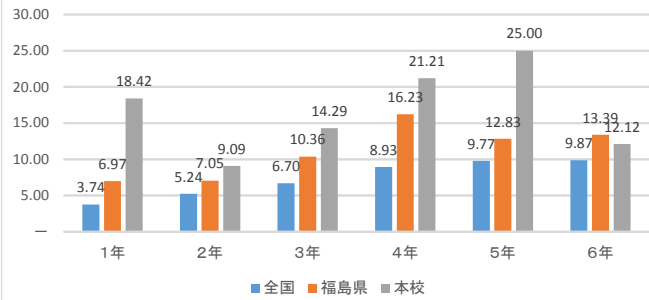
こたき

いわき市立小名浜西小学校長 高木清美

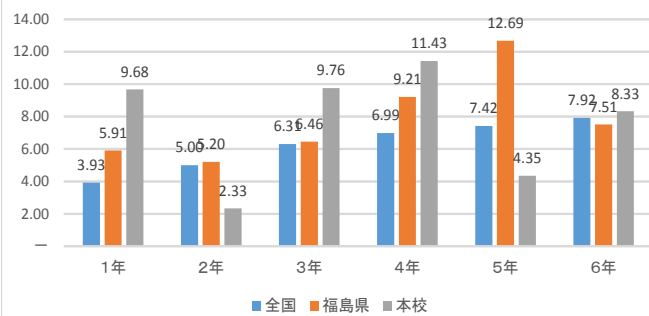


西小児童の肥満度・むし歯は？

27年度男子肥満度20%以上の児童の割合



27年度女子肥満度20%以上の児童の割合



今年度に行われた全国保健調査（文科省）の速報が昨年暮れに報じられました。福島県の課題である肥満とむし歯について、本校の状況をお知らせしたいと思います。

まず、肥満についてです。左のグラフは、肥満度20%以上の児童の割合を示したものです。県全体としては、震災前のレベルに戻ったと新聞では報じていますが、まだまだ全国から比べると多い状況です。

では、西小はどうでしょう？各学年の一番右が本校のデータです。学年・男女で多少ばらつきはありますが、肥満傾向の強さが読み取れます。男子では、1年生は全国のおよそ5倍、3年生・4年生・5年生で2倍を超えています。女子では、1年生・3年生・4年生が全国をはるかに上回っています。

肥満の原因は、さまざまです。震災後は、外遊びを控えたための運動不足が一因だと出てきました。今もなおその時の影響が出ているのでしょうか。食生活はどうでしょうか。

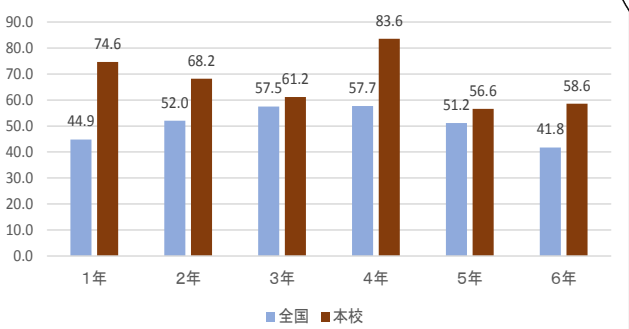
学校では、体育の授業で運動量を増やすと共に、自分から進んで運動するような工夫と働きかけを行っていくことに努めてきました。食に関する指導は、1・5年で栄養教諭を招いた授業を毎年計画して指導しています。

次に、むし歯についてです。右のグラフは、むし歯が1本でもある児童の割合を示したグラフです。治療した歯も、むし歯とカウントします。西小は、すべての学年で全国を上回っています。特に、1年・2年・4年・6年は深刻な状況です。

2月13日付けの新聞（裏面）に、福島県のデータを報じた記事が載りました。県レベルでも深刻な状況であることが分かります。むし歯についても、肥満同様に震災の影響を一因としてあげています。

むし歯の問題も肥満の問題も日々の生活を変える努力が必要なのかも知れません。いろいろな立場から智慧を出し合い、改善を図っていく必要を感じます。

平成27年度むし歯のある児童の割合



「自分手帳」の活用で自己管理できる力を育成(県の施策)



福島県教育委員会では、県内の児童生徒の健康増進・体力向上・食生活の改善を目的に「自分手帳」(左写真)を作成し、4年生以上高校3年生までの使用を通して、自己管理できる力を高めようとしています。本校でも記入のし方や活用の方法等を検討しています。春休み中には、一度ご家庭に持ち帰らせてます。お子さんの運動・健康・食生活について見直してみてください。